

2019年（令和元年度）

警視庁警察官Ⅲ類

教養試験

出題例

[No.1] (政治)

我が国の選挙制度に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1)各政党の得票数に比例して議席を配分する比例代表制は大選挙区制の一種であり、衆議院議員選挙及び参議院議員選挙の比例代表ではドント式による議席の配分が行われている。
- (2)衆議院の選挙制度は、1993年まで1つの選挙区から3~5人ほどの議員が選出される小選挙区制が採用されていたが、現在では大選挙区制が採用されている。
- (3)選挙権、被選挙権の資格を性別、身分、財産の多寡などで制限せず、一定の年齢に達した者すべてに与える選挙制度を直接選挙という。
- (4)現在の参議院の選挙制度では、小選挙区と比例代表を合わせた小選挙区比例代表並立制を導入している。
- (5)国外に居住する日本人の有権者に選挙権行使の機会を保障するため、現在では国外において衆議院議員選挙及び参議院議員選挙の比例代表に限っての投票が可能である。

[No.2] (経済)

我が国の租税に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 税収全体に占める直接税と間接税の割合を直間比率といい、我が国の2018年度予算における直間比率(国税+地方税)はおよそ5:5となっている。
- (2) 租税は納税者と担税者(税負担者)が同一か否かで直接税と間接税の区別があるが、消費税は、消費者が納税者であり担税者でもあることから直接税に分類される。
- (3) 租税は納付先によって国税と地方税に区分され、国税の例として事業税が、地方税の例として法人税があげられる。
- (4) 租税の基本原則は公平であること・中立であること・簡素であることであり、このうち中立とは課税が個人や企業の経済活動の妨げにならないようにすることをいう。
- (5) 1949年のシャウプ勧告により、我が国の税体系の基礎が確立され、間接税中心の税制となった。

[No.3] (社会)

本年7月に開かれた北太平洋漁業委員会(NPFC)の会合で、漁獲量に上限を設ける規制を導入することで合意した魚類として、最も妥当なのはどれか。

- (1)アジ
- (2)クジラ
- (3)サケ
- (4)サンマ
- (5)マグロ

[No.4] 国語

次のうち、会社の上司に対する適切な敬語の使い方として、最も妥当なのはどれか。

- (1)課長、わたくしがこの企画を担当していいですか。
- (2)課長、今日は戻られますか。
- (3)課長、何時に参られますか。
- (4)課長、ご苦労様でした。
- (5)課長、コーヒーと紅茶、どちらにいたしますか。

[No.5] (判断推理)

大きさと形、色が全く同じコインが 72 枚あり、その中の 1 枚だけが偽物で他のコインと重さが異なる。天秤ばかり 1 台を使って偽物 1 枚を確実に見つけ出すとき、天秤ばかりを使用する最少の回数として、最も妥当なのはどれか。ただし、偶然わかった場合は最少の回数としないものとする。

- (1)3 回
- (2)4 回
- (3)5 回
- (4)6 回
- (5)7 回

[No.6] (数的推理)

合金 A はその質量の 95%の鉄を含み、合金 B はその質量の 45%の鉄を含む。この 2 種類の合金を溶かして混ぜ、鉄を 60%含む合金を 200g つくるときの合金 A の質量として、最も妥当なのはどれか。

- (1)15g
- (2)30 g
- (3)45g
- (4)60g
- (5)75g